

## 鏡ヶ池会第21回総会議案

### 1. 平成20年度～22年度（3年間）の活動報告

- 1) 名簿編集  
第44号、第45号、第46号を発行し、配布した。
- 2) しゃち編集  
第49号、第50号、第51号を発行し、配布した。
- 3) 役員会  
年2回、合計6回の役員会を開催した。
- 4) 鏡ヶ池会教室後援基金の運営
- 5) 年行事など
  - ・ 各支部活動（東京支部、関西支部）
  - ・ 学生会活動（名大祭その他学生の主体的な活動）
  - ・ 土木事業に関する談話会の開催（3回）
  - ・ 就職のためのマナー講座の開催（3回）
  - ・ 女子の会開催（2回）
  - ・ 留学生の支援
  - ・ 全学および工学部・工学研究科同窓会への協力
  - ・ 本部ホームページの運用
  - ・ 銀しゃちの準備
  - ・ 事務員の導入
  - ・ その他
- 6) 鏡ヶ池会第21回総会（平成23年5月27日）の開催

## 2. 鏡ヶ池会会計決算報告 (平成20年4月11日～平成23年3月31日)

				(予算)
収 入	平成19年度からの繰越金	12,545,160 円		(13,160,160) 円
	会費	14,639,050		(13,000,000)
	告 費	365,000		(400,000)
	利 息	6,062		
	合 計	27,555,272 円		(26,560,110)
				(予算)
支 出	名簿(44,45,46)号印刷代	2,995,900 円		(3,500,000) 円
	しゃち(49,50,51号)印刷代	1,657,500		(2,000,000)
	総会および講演会補助	218,442		(400,000)
	学 生 支 援	1,276,837		(860,000)
	支 部 援 助	1,101,890		(1,200,000)
	ホームページ関連費	10,479		(50,000)
	会 合 費	382,420		(400,000)
	鏡ヶ池会懇親会	6,600		(100,000)
	幹事会旅費	269,580		(200,000)
	工学部同窓会協力金	211,525		(35,000)
	郵 送 料	1,936,406		(2,000,000)
	会費徴収関連手数料	273,807		(240,000)
	ア ル バ イ ト 代	656,640		(200,000)
	消 耗 品 及 び 運 営 費	906,072		(800,000)
	慶弔費・記念品代	85,312		(300,000)
	50周年記念行事積立金	2,000,000		(2,000,000)
	繰 越 金	13,565,862		(12,275,110) 円
	合 計	27,555,272 円		(26,560,110)
	単 一 会 計 年 度 支 出	11,989,410 円		(12,285,000)

## 3. 鏡ヶ池会教室後援基金会計報告 (平成20年4月1日～平成23年3月31日)

収入	平成19年度からの繰越金	1,589,873 円	
	23期20年会寄付金	20,730	
	利 息	4,513	
	合 計	1,615,116 円	
支出	平成20年度	学位論文助成	20,000 円
		特別講師謝礼	0
	平成21年度	学位論文助成	0
		特別講師謝礼	80,000
		終身会員資格	45,000
		留学生歓迎会補助	50,000
	平成22年度	学位論文助成	0
		特別講師謝礼	60,000
		留学生歓迎会補助	50,000
	繰 越 金	1,310,116	
	合 計	1,615,116 円	

#### 4. 鏡ヶ池会会則（改正案）

### 会 則（改正案）

昭和 49 年 11 月 23 日 全面改正  
 昭和 59 年 5 月 19 日 一部改正  
 平成 5 年 5 月 22 日 一部改正  
 平成 8 年 5 月 25 日 一部改正  
 平成 17 年 5 月 27 日 一部改正  
 平成 20 年 5 月 30 日 一部改正  
 平成 23 年 5 月 27 日 一部改正

#### 第 1 章 総則

第 1 条 この会は鏡ヶ池会という。

第 2 条 この会の本部を名古屋大学土木系教室内に置く。

2 名古屋大学土木系教室とは、名古屋大学工学部社会環境工学科（社会資本工学コース）、同大学院工学研究科社会基盤工学専攻、環境学研究科都市環境学専攻（空間環境学コース）のことを言う。

第 3 条 この会に支部を置くことができる。

#### 第 2 章 目的・事業

第 4 条 この会の目的は土木工学の発展に寄与し、名古屋大学土木系教室への支援・貢献を行い、会員相互の親睦をはかることにある。

第 5 条 この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 会員名簿（年 1 回）と会報（随時）の作成・配布
2. 研究会・見学会・運動会などの開催
3. その他、この会の目的を達成するために必要な事項

#### 第 3 章 会員

第 6 条 この会の会員は別表 1 に定めるものとする。

第 7 条 会員は別に定める会費を納入しなければならない。

第 8 条 会員は会員名簿、会報の配布を受けるとともに、この会が主催する事業に参加する資格を有する。

第 9 条 会員は、姓名、勤務先、住所等に変更を生じたときは速やかに本部に通知することを要する。

#### 第 4 章 役員

第 10 条 この会に次の役員を置く。

会長 1 名、幹事長 1 名、副幹事長 1 名、幹事若干名、会計監事 1 名

第 11 条 会長は、卒業生の中から役員会が推薦し、総会において承認を受けるものとする。

2 会長は、必要に応じて、役員会の承認を受けて、副会長をおくことができる。副会長は、会長に事故あるときはその業務を代行する。

第 12 条 幹事長、副幹事長および会計監事は、役員会において選任する。

第 13 条 幹事は、各期会員、教員から互選し、役員会の承認を受けるものとする。また、必要に応じて業務の担当幹事を役員会において選任する。

第 14 条 会長はこの会を代表し、役員会を招集してその議長となる。

第 15 条 幹事長は会務を総括し、会長に事故あるときはその業務を代行する。

第 16 条 副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはその業務を代行する。

第 17 条 会計監事は鏡ヶ池会のすべての決算を監査する。

第 18 条 役員会は会長、幹事長、副幹事長および幹事により構成し、この会の業務を運営する。

第 19 条 役員会は会費を決定し、決算報告の義務を負う。

第 20 条 役員員の任期は 3 年とする。ただし役員会の承認を得て役員を変更することができる。

#### 第 5 章 総会

第 21 条 総会は原則として毎年開くものとする。

第 22 条 総会は会則の変更、その他重要な事項を議決し、役員人事および前年度の収支決算を承認する。

#### 第 6 章 会計

第 23 条 この会の経費には会費および寄付金、広告料をあてる。

#### 付則

1. この変更会則は平成 23 年 5 月 27 日から施行する。

#### 別表 1（鏡ヶ池会会員）

正会員	社会環境工学科（社会資本工学コース）・旧土木工学科，同大学院工学研究科社会基盤工学専攻，旧土木・地圏環境工学・旧地盤工学専攻の卒業生，修了生
	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（空間環境学コース）の土木系教員研究室の修了生
	名古屋大学工学部社会環境工学科（社会資本工学コース）の教育を担当している専任の教員（土木系教員と呼ぶ）
	名古屋大学工学部社会環境工学科（社会資本工学コース）・旧土木工学科，同大学院工学研究科社会基盤工学専攻，旧土木・地圏環境工学専攻の教育を担当していた専任の教員（土木系旧教員と呼ぶ）旧職員および入会を希望する一般事務職員および技術職員
学生会員	名古屋大学工学部社会環境工学科（社会資本工学コース）の学部学生
	名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻の大学院生
	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻（空間環境学コース）の土木系教員研究室の大学院生とそれ以外の研究室において入会を希望する大学院生
準会員	正会員，学生会員以外で，名古屋大学土木系教室に関係のある者で，会長が認めた者

## 5. 鏡ヶ池会新役員 (案)

会 長	宮 池	克 人	広報担当 (しゃち)	戸 田	祐 嗣
幹 事	加 藤	博 和	〃	判 治	剛 之
副 幹 事	川 崎	浩 司	〃	酒 井	崇 富
支部担当 (東京)	若 林	成 樹	会員担当 (会計)	三 輪	太 生
支部担当 (関西)	浜 嶋	一 郎	〃	中 井	健 太
会員担当 (名簿)	田 代	尚 喬	〃	浅 野	美 和
〃	上 田	尚 史	教 員 幹 事	舘 石	和 雄
〃	小 塩	達 也	留 学 生 担 当	崔	誠 珉
広 報 担 当	葛 西	友 昭	会 計 監 事	吉 田	敏 和
(ウェブサーバ)	中 村				
1期幹事	水 野	一 男	26期幹事	鈴 木	森 晶
2期幹事	高 瀬	喜 祥	27期幹事	石 川	靖 晃
3期幹事	南 川	洋 士 雄	28期幹事	加 藤	博 和
4期幹事	大 澤	耕 一	29期幹事	川 崎	浩 司
5期幹事	遠 山	正 美	30期幹事	荻 野	成 康
6期幹事	横 田	憲 司	31期幹事	井 上	康 憲
7期幹事	近 藤	明 雅	32期幹事	水 野	和 直
8期幹事	寺 島	優 眞	33期幹事	香 川	富 生
9期幹事	河 邑		34期幹事	三 輪	太 喬
10期幹事	吉 田	敏 和	35期幹事	田 代	健 太
11期幹事	伊 藤	義 人	36期幹事	中 井	剛 宏
12期幹事	水 野	英 二	37期幹事	判 治	雅 尚
13期幹事	田 中	浩 彦	38期幹事	田 賀	史 之
14期幹事	磯 部	友 彦	39期幹事	上 田	博 典
15期幹事	向 井	克 之	40期幹事	竹 下	内 政
16期幹事	大 東	憲 二	41期幹事	二 井	村 雅
17期幹事	織 田	博 孝	42期幹事	中 村	根 幸
18期幹事	岩 田		43期幹事	赤 根	岡 桂
19期幹事	水 谷	法 美	44期幹事	奥 岡	室 碧
20期幹事	伊 東	孝 善	45期幹事	三 室	後 藤
21期幹事	後 藤	徳 隆	46期幹事	後 藤	山 達
22期幹事	加 藤	隆 史	47期幹事	青 山	田 義
23期幹事	中 村	光 樹	4年幹事	鶴 田	桃 子
24期幹事	中 野	正 弘	〃	藤	
25期幹事	野 田				

## 6. 鏡ヶ池会教室後援基金運営委員 (案)

会長，幹事長

野田利弘 (25期)，岩田誠 (18期)，田賀雅宏 (38期)

## 7. 平成23年度の活動方針 (案)

- 1) 総会の単年度化／懇親会の廃止
- 2) 会計の単年度化と簡素化
- 3) 名簿編集  
第47号の発行  
会員の相互情報交換の場
- 4) しゃち編集  
第52号の発行  
会員の相互情報提供の場

5) 役員会

2回開催

6) 鏡ヶ池会教室後援基金の運営

教室および教職員・学生の学術研究および教育に関する経費の助成

7) 鏡ヶ池会第22回総会

平成24年春に開催予定

8) その他

- ・ 各支部活動（東京支部、関西支部）
- ・ 学生会活動（名大祭その他学生の主体的な活動）
- ・ 土木事業に関する談話会の開催（卒業生と在学生との談話会、教室と共催）
- ・ 就職のためのマナー講座の開催（教室と共催）
- ・ 銀しやち発刊
- ・ 留学生支援
- ・ 留学生OB向けのニュースレターの作成
- ・ 女子の会の開催
- ・ 全学および工学部・工学研究科同窓会への協力
- ・ 本部ホームページの運用
- ・ その他

8. 平成23年度の会費（案）

学生会員	0円/1年
正会員	4,000円/1年
終身会員 <sup>※1</sup>	15,000円
プレミアム会員 <sup>※2</sup>	0円

※1 名大卒業生以外の退職・転勤職員および帰国留学生

※2 卒業後48年を迎えた期およびそれに準ずる正会員で会費完納者

9. 平成23年度の予算（案）

収入	繰越金	13,565,862 円
	会費	5,000,000
	広告費	50,000
	合 計	18,615,862 円
支出	名簿(47号)作成費	1,100,000 円
	しやち(52号)作成費	650,000
	銀しやち作成費	400,000
	総会補助	100,000
	学生支援	450,000
	支部援助	400,000
	ホームページ関連費	100,000
	合 計	150,000
	旅費	100,000
	工学部同窓会協力金	12,000
	郵送料	700,000
	会費徴収関連手数料	100,000
	アルバイト代	400,000
	消耗品及び運営費	200,000
	慶弔費	100,000
	予備費及び繰越金	13,653,862
	合 計	18,615,862 円